

I. 次の楽譜はモーツアルト作曲、弦楽四重奏曲第21番K.575の一部分です。下記の問い合わせに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④の転回音程になるように、下の楽譜の上方に全音符を書きなさい。  
なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)

〈音程〉

①	長10度 1オクターブと長3度	②	増9度 1オクターブと増2度	③	増2度	④	長6度
⑤	減7度	⑥	完全4度	⑦	短7度	⑧	長7度

〈転回音程〉(3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(a) ⑦を下属音とする和声短音階

(b) ⑦を導音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。

旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。(3点×2=6点)

(c) ⑦を属音とする旋律短音階

(d) ⑦を第III音とする短調の導音を主音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問い合わせに答えなさい。

1.(1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 短三和音 転回形 第1転回形 (2) 種類 減七の和音 転回形 第2転回形  
 (3) 種類 属七の和音 転回形 第2転回形 (4) 種類 増三和音 転回形 基本形  
 (5) 種類 長三和音 転回形 第2転回形

2. 次の文中の〔 〕に調名を、《 》には関係調の名称を、{ }には和音の種類を書き入れなさい  
(短調は和声短音階とする)。(2点×5=20点)

a. (1)を主和音とする調の《 属調 》はト短調である。

b. (3)を属和音とする短調の平行調は〔 变ニ長調 〕である。

c. (5)を下属和音とする調のVIの和音は〔 短三和音 〕である。

d. (5)を属和音とする長調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を同主調とする調の下属調は

〔 变イ短調 〕である。

III. 次の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書きなさい。(1点×6=6点)

sempre	7
animato	5
adagio	2
ritenuto	10
marcato	3
rusuticana	12

- 意味：
- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. 歩くような速さ  | 7. 常に      |
| 2. ゆるやかに    | 8. すぐに     |
| 3. 各音をはっきりと | 9. 次第に遅く   |
| 4. 音を短く切って  | 10. ただちに遅く |
| 5. 生き生きと    | 11. 悲しげに   |
| 6. 愛情を込めて   | 12. 素朴に    |

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していくます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(3点×6=18点)

A

B

C (い) Un poco agitato (ろ) (は)

(い)

(は)

A ホ短調

B 変ホ長調

C (い) ロ短調 (ろ) ト長調

(は) 二長調 (に) ホ短調